

# 学ぶところが輝く学校

茅ヶ崎市立汐見台小学校

学校だより 2月号

令和6年 2月 2日

校長 大越 敏孝



## 1年のまとめの時期になりました ～学校運営協議会の取り組み～



新しい年が始まり、あっという間に1か月が過ぎました。1年をまとめる節目の時期になりました。2月5日（月）からは、各学年の授業参観・懇談会が始まります。お子さんの成長した姿をご覧いただき、ご家庭でもこの1年間を振り返り、お子さんのよいところや頑張ったことを、たくさんほめていただければと思います。

汐見台小学校も、今年はさまざまな節目を迎える1年でした。開校12周年を祝つての「航空写真」「創立記念のつどい」、教職員の研究成果を市内外の先生方に公開する「研究発表会」。そして、延期に延期を重ね1月27日（土）に4年ぶりに開催



できた汐見台小学校区青少年育成推進協議会（推進協）主催の「なぎさの子☆村まつり」。当日は、子どもたちだけでなく保護者や地域の方々を含めると400名をこえる皆さんが来校して大盛況でした。今回は、松浪中の生徒だけでなく汐見台小OBの大学生・社会人も応援に駆けつけてくれました。これらの行事は、学校だけでなく地域の多くの皆さんに支えられながら行われていることを実感しました。コロナ禍前の笑顔や活気もどってきたと実感することができる場面もたくさん見られ、とても嬉しく思いました。



汐見台小学校は、昨年より「地域とともにある学校」として、コミュニティ・スクールになりました。学校と地域・保護者がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させながら、協働して子どもたちの豊かな成長を支え育もうと取り組んでいます。「なぎさの子☆村まつり」は、「地域とともにある汐見台小学校」の取り組みの一つであると思

います。地域や保護者の皆さんが参画し、意見交換をしながら、子どもたちの健全な育成を地域全体で目指すための「学校運営協議会」も、2年の節目を迎えようとしています。この間、委員の皆さんは、汐見台小学校の子どもたちへの想いを胸に、①教育・学力・学習支援、②防犯・防災・安全、③環境・福祉・地域の3つのテーマで、さらによりよい汐見台小学校を目指すための課題や願いをじっくり話し合い、熱い意見の交換を行ってきました。その話し合いは、地域とともにある汐見台小学校の土台づくりにつながるものでした。



そして、それは今、より実効的な活動へと拡がろうとしています。



放課後の居場所づくりや学習支援を視野に入れた「夏の寺子屋」。交通事故を防ぐため、朝会やお昼の放送を利用して行った「危険予知トレーニング（KYT）」への取り組みも始まりました。また、「なぎさの子☆村まつり」でも紹介していた、子どもたちを地域で守るための「こえかけリボン」の活動。学校の教育活動を支援するための人材の募集など、「人材バンク」の取り組みも、これから始まろうとしています。

子どもたちの健やかな成長とよりよい学びの場としての汐見台小学校を、保護者や地域の皆さんとともに創っていきたくと思っています。3月12日（火）の第5回学校運営協議会を経て、今後、さまざまな活動の詳細をお知らせしてまいります。ぜひご理解とご協力をお願いいたします。

1月19日（金）に、新入学保護者説明会が開催されました。来年度の新入学児童を迎える準備とともに、6年生の卒業式に向けた取り組みも始まっています。各学年とも1年間の学習のまとめをしっかりと、新しい次のステージに進んでほしいと思

います。

